2014.2.6のブックトーク　　　６年生へ

**「なんでもない石から広がる」**

西條明子

他人にはつまらない石でも自分にとって大切な石があります。

１．**『ときめきのへや』福本由美子　講談社**

学校は好きじゃない、友達と遊ぶのも嫌い、好きなのは一人海辺を歩いて石を拾うこと。

そんな女の子メアリーが世界的な発見をするのです。

**２．『海辺の宝もの』ヘレン・ブッシュ　あすなろ書房**

　昔の生物が閉じ込められている化石も貴重な石ですが、石の世界はもっともっと広いのです。

**３．『鉱物・岩石の世界　地球からのメッセージ』青木正博　誠文堂新光社**

　水晶はきれいですね。水晶のことを『氷石』ともいうのだそうです。

**４．『氷石』久保田香里　　くもん出版**

文字が書けなくても自分の人生の記憶をのこしたい。マッチ箱に残した黒い小さな石が語るもの。

**5．『マッチ箱日記』ポール・フライシュマン/文　バグラム・イバトゥーリン/絵　BL出版**

『女の子も学校で勉強したい』といっただけなのに銃で撃たれてしまったマララ・ユスフザイさんを知っていますか？

**6．『ぼくたちはなぜ、学校へ行くのかーマララ・ユスフザイさんの国連演説から考える』石井光太　ポプラ社**

**★読んでみたいと思った本がありましたか？いくつでも番号に〇を。ブックトークの感想をお願いします。**

**6年　組　　名前（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）**

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |